

## 策定検討委員会（第2回）における意見・質問及びそれに対する事務局の見解

NO.	意見・質問内容	委員	対応	修正箇所	事務局見解・対応
1	策定検討委員会（第2回）資料3に、事務局見解・対応として「9頁に追記した。」とあるが10頁ではないか。	土屋委員	修正	前回 会議資料3	10頁の誤りであるため、修正した。
2	市民に読みやすい資料とするため、トピックの図について、文字や図を見やすくなるように修正がなされるべき。	鈴木委員	修正	8頁	文章を精査、要約し、トピック2の図を拡大した。
3	資料1では「発展なのか」とあり、資料2では「発展的内容なのか」と表記が異なるため、整合を図るべき。	檜山委員	修正	前回 会議資料1、会 議資料3	資料1の文言を「発展的内容」に修正した。
4	計画の動機付けに関して、もっと分かりやすい導入部分があった方が、市民にも真剣に見て頂けるのではないか。	鈴木委員	資料作成	資料4	導入を変えた場合として資料4を作成した。
5	「40%以上も多い」という表記を「40%以上も高い」に修正して頂きたい。	池上委員	修正	2頁	「40%以上も高い」に修正した。
6	「地上の温度が上昇する現象が地球温暖化と呼ばれています」という表現が陸地だけのことと誤解を招く懸念がある。	池上委員	修正	2頁	「地上」を「地表面の温度」に変更した。
7	トピック1のRCP8.5に*が付いているが不要ではないか。	池上委員	修正	4頁	*の位置を「代表濃度経路シナリオ」に変更した。
8	トピック1の○印の出典について、略した表記であるため正しい表記にすべき。	池上委員	修正	5頁	出典名を「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」に修正した。
9	表中の4数値において、2030年度排出量目安と2013年度実績が同一であるが入れ違いではないか	池上委員	修正	9頁	2030年度の排出量の目安を、国の地球温暖化対策計画に基づく値へ修正した
10	「排出係数」という表記を、「二酸化炭素排出係数」または「CO2排出係数」とした方が正確な表記かと思う	池上委員	修正	全体	「排出係数」を「CO2排出係数」に修正した。また、文中及びキャプション中の「二酸化炭素」を「CO2」に統一した。
11	「エネルギー削減率」や「CO2削減率」という表記は、前計画と同一であるため、必ずしも変更する必要はないが、「CO2排出量削減率」などの表現とした方が良いのではないか	池上委員	修正	11頁	「エネルギー削減率」を「エネルギー消費量削減率」、「CO2削減率」を「CO2排出量削減率」に修正した。
12	計画全体で扱う語句である「CO2」と「二酸化炭素」をいずれかに統一してはどうか	池上委員	修正	全体	文中及びキャプション中の「二酸化炭素」を「CO2」に統一した。
13	本計画では緩和策と適応策が入るため、「地球温暖化防止に取り組む」という表記を「地球温暖化対策に取り組む」という表記にしてはどうか	池上委員	修正	15頁	「地球温暖化防止に取り組む」を「地球温暖化対策に取り組む」に修正した。
14	第2章タイトル「地球温暖化の現状と課題」を「地球温暖化対策の現状と課題」に変更してはどうか	池上委員	修正	目次、19頁、 20頁	「地球温暖化に関する現状と課題」を「地球温暖化対策の現状と課題」に修正した。
15	グラフが少し古いため、新しくならないか	池上委員	修正	20頁、21頁	20頁のグラフはデータの更新を行った。 21頁のグラフは情報の出展となる統計が5年おきの更新となるため、そのままとした。

## 策定検討委員会（第2回）における意見・質問及びそれに対する事務局の見解

NO.	意見・質問内容	委員	対応	修正箇所	事務局見解・対応
16	「東小金井関」という表記は「東小金井駅」の誤りではないか	池上委員	修正	22頁	「東小金井関」を「東小金井駅」に修正した。
17	右下グラフの「二酸化排出量」は「二酸化炭素排出量」ではないか	池上委員	修正	26頁	「二酸化排出量」を「CO2排出量」に修正した。
18	右下キャプションの「延床面積エネルギー消費量」は「延床面積あたりのエネルギー消費量」ではないか	池上委員	修正	28頁	「延床面積エネルギー消費量」を「延床面積あたりのエネルギー消費量」に修正した。
19	図中「環境行動指針」と「環境配慮指針」が今回計画とつながっているが、新しくならないのか	池上委員	回答	-	小金井市環境基本計画とともに今後改定予定であり、予定される策定期間へと表記は修正した。
20	34頁、36頁あるいは施策中に出てくる緑化について、ヒートアイランド対策か、地球温暖化対策かが曖昧である。環境基本計画ではヒートアイランド対策が適応策に記載されるため、本計画でも整合を取って整理してはどうか	池上委員	修正	64～66頁	緩和策としては吸収源、適応策としてはヒートアイランド対策として緑化を位置づけた。緩和策では吸収源であることを示すため、基本方針を「吸収源となるみどりの保全と創出」とした。
21	「現状と課題」と、後述の施策との対応関係を書いて頂ければ理解しやすい	池上委員	資料作成	資料5	「現状と課題」を第4章に内包した場合を資料5として作成した。
22	産業部門と家庭部門、業務部門の施策整理の仕方を、環境基本計画との対応関係を脱んだものとして頂きたい	池上委員	修正	49～57頁	家庭部門、業務部門の施策については、現在策定中の環境基本計画との整合を図った。
23	20頁の現人口12万3,584人とあるが、36頁にある2023年ピーク予測12万12人を既にも上回っているが正しいか	土屋委員	回答	20頁	現在の将来人口推計としては最新のため、現状の将来推計としてはそのままとする。
24	2020年度はわずかに増加していくと表記があるが、下表では2025年度は僅かに減少しているが正しいか	山内委員	修正	41頁	文言を修正し、CO2排出量は2017年度以降減少傾向、HFCsは増加していく旨を示した。
25	38頁表で示される活動量と、39頁表に示されるHFC他、温室効果ガスとの関係性を示されていないため、分かるようにすべきではないか	山内委員	修正	40頁	その他6ガスの推計手法を追記した。
26	38頁にCO2の推計手法が記載されているが、その他6ガスの推計手法の回答をお願いできるか	池上委員	修正	40頁	その他6ガスの推計手法を追記した。
27	HFCは規制の方向に向かっており、今後はあまり増加しないはずである。小金井市で今後増加するというのは調べる必要があるのではないか。	中野委員	回答	-	現在は東京都全体として家庭用エアコン、業務用冷凍空調機器からのHFCs排出量が増えていることを踏まえ、緩やかながらも現状の傾向を維持するとした。
28	真ん中表「現状維持ケース」のみ他項目と桁数が異なることが気になる	池上委員	修正	43頁	桁数を小数点第1位で統一した。
29	電力排出量の低減化という言葉は正しいか	池上委員	修正	43頁	「電気のCO2排出係数の低減化」に修正した。
30	電気の排出係数の低減に関する算定方法について、式が誤っているのではないか	池上委員	修正	43頁	「小金井市2017年度排出量」を「小金井市2030年度BAU排出量」に修正した。
31	「国では「地球温暖化対策」において」とあり、地球温暖化対策が鍵括弧であるのは他の引用があるのか	池上委員	修正	45頁	「地球温暖化対策計画」に修正した。

## 策定検討委員会（第2回）における意見・質問及びそれに対する事務局の見解

NO.	意見・質問内容	委員	対応	修正箇所	事務局見解・対応
32	家庭部門と業務部門が大部分を占める小金井においては、国の部門別目標である40%に近い数字になってしかるべきであるが、小金井市の計画目標として掲げる26%は適当か。	池上委員	回答	-	本計画は国の部門別目標ではなく、温室効果ガス排出量全体での目標と整合を図ることとした。
33	コロナの影響程度について一節程度の言及を設け、データが揃い次第、必要に応じて見直すことを記載する	中野委員 山内委員	修正	17頁	新型コロナウイルスについて、「国内外の経済社会動向の著しい変化（新型コロナウイルスの流行など）」として追記した。
34	国の目標との整合性を考えた現時点での指針として作成するが、コロナ後の生活や国の目標が変わった際は、改定されうるといった内容を記載する	中野委員 池上委員	修正	17頁	新型コロナウイルスについて、「国内外の経済社会動向の著しい変化（新型コロナウイルスの流行など）」として追記した。
35	2017年度の電気の排出係数について、桁数を都の公表値と合わせる	山内委員	修正	43頁	電気のCO2排出係数を0.471kg-CO2/kWhに修正した。
36	国等と連携して進める対策による削減見込量について、「算出方法は資料編に」といった一文を本編に加えてもらえればよい	富永委員	修正	42頁	「（算定方法の詳細は、資料編「資-5. 国等と連携して進める各種対策による削減効果見込量算出方法」を参照）」を追記した。
37	太陽光発電の効果を削減見込量に入れられるか検討いただきたい	池上委員	継続検討	32頁	参考データとして、再生可能エネルギーの導入状況を32頁へ追加した。 将来的な導入量については継続検討とする。
38	「市民・事業者・市の協働により」とあるが、教育研究機関は入れなくて良いのか	土屋委員	修正	48頁	教育研究機関を追記した。
39	※印のサイズが大きい	池上委員	修正	全体	*を上付きに修正した。
40	句読点がない	池上委員	修正	55頁	句読点を追記した。
41	電気の地産地消という記載があるが必要か	土屋委員 池上委員	回答	-	東京都は電力の地産地消を推奨していることを踏まえ、そのままとした。
42	市民・事業者の取組みはあるが、教育研究機関の取組みを全てに入れるかは別として、入れる必要があるのではないか	土屋委員	修正	67・68頁	事業者とは別に教育研究機関としての取組を追加した。
43	市民・事業者・市の主体別にすべき取組が書かれていると分かりやすい構成に思う	中野委員 池上委員	修正	4章・5章全体	市の取組とともに市民・事業者の取組を並べ、市は「市の具体的な取組」、市民・事業者は「～の取組例」と明記した。
44	第2章の終わりにあった現状と課題について、第4章の始まりの前に持ってきたほうが分かりやすいのではないか	山内委員	資料作成	-	「現況と課題」を第4章に内包した場合は資料5として作成した。

## 策定検討委員会（第2回）における意見・質問及びそれに対する事務局の見解

NO.	意見・質問内容	委員	対応	修正箇所	事務局見解・対応
45	家庭と事業所は、環境基本計画の骨組みがどうなるかにもよるが、一緒にしてはいいのでは	池上委員	回答	-	小金井市は家庭部門及び業務その他部門からの排出量が多く、市民・事業者で別個に取組を立てることが重要と考えていることから、家庭と事業者の区分はそのままとする。
46	事業者の取組の②「市民に積極的に情報提供」は市の取組の書き方のように思える	池上委員	修正	4章全体	取組に応じて事業者の業種（工務店、家電販売店等）を明記した。
47	導入自体を事業者に求めていくことが抜けている	池上委員	修正	54～59頁	事業者が行う取組としても導入を追加した。
48	市民・事業者の取組①が抽象的であり、もう少し具体的に書いた方が良いのではないか	土屋委員	修正	65頁	文言を「花壇の手入れや樹木の剪定など都市公園の維持管理に協力」とした。
49	「市が行う具体的取組」という記載を4章でも用いた方が分かりやすいと思う	中野委員	修正	第4章全体	「市の具体的な取組」として4章に文言を追記した。
50	健康や他箇所における熱中症対策について、教育という文言を切るか、高齢者という言葉を入れて子供と高齢者の両方を対象とするか検討いただきたい	中野委員	修正	73頁	統計では、熱中症の発生は5歳未満、80歳代で特に多く見られることから、文言を「主に幼児や高齢者で発生しやすい熱中症」に修正した。
51	(3)の気候変動の影響リスクの低減は、(1)～(7)に入れた方が良いのではないか	池上委員	修正	71～74頁	(3)の気候変動の影響リスクの低減を、(1)～(7)に含めるよう修正した。
52	市の取り組みを市民に理解してもらうため、エネルギーやCO2など全体目標の他、より小さな数値目標を設定してはどうか	池上委員	修正	第4章全体	環境目標毎に取組指標を追加した